

岐阜市を過ごしやすく優しい街に

市政報告

2023.
2月

令和4年第5回(12月)定例会での報告と決定された事業内容の一部を紹介します。

REPORT

1

衛星画像を用いたAI分析で 水道水の漏水エリアを検知



浅野まさき

水道事業における有収率(水道施設からの配水量と使用水量の比率)の改善に向けてどのような取り組みをしているか教えてください。

有収率は平成25年度の77%から低迷しており、令和3年度は73.4%でした。その要因と考えられている漏水の新たな調査方法として「衛星画像を用いた漏水調査」を取り入れました。結果は市内総延長2,400kmある管路のうち約340kmに漏水リスクが高いレベル5、及びレベル4の評価が出ました。調査結果は今後、施設更新計画や維持管理計画の策定に活かしていきます。



▲調査の様子

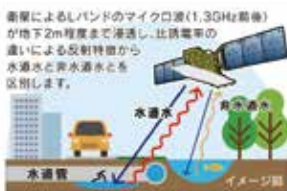


上下水道事業部



衛星画像を用いた漏水調査

JAXAの人工衛星「だいち2号」から地上に電磁波を放射し、地下で漏水する水道水の反射特性をAIで解析し、漏水エリアを検知する調査。地下漏水の早期発見ができること、漏水リスクが5段階で評価されることにより、効率的な漏水調査と修繕対応が可能になります。



衛星によるLバンドのマイクロ波(1.3GHz帯域)が地下2m程度まで浸透し、比誘電率の違いによる反射特徴から水道水と非水道水を区別します。
ジャパン・トゥエンティワン株式会社の資料より引用

REPORT

2

義務教育学校を選択肢に入れた 小中一貫教育の推進について



浅野まさき

岐阜市における小中一貫教育、及び、岐阜市型小中一貫校の成果と今後の展開についてお聞かせください。

本市では、平成20年度からすべての中学校区で「小中一貫教育」を実施しており、指導の一貫性の確保、小中ギャップの解消、社会性機能の強化といった成果が上がっています。

藍川小学校と藍川北中学校、厚見小学校と厚見中学校、芥見東小学校と藍川東中学校の「岐阜市型小中一貫校」に関しては、異学年交流、中学校教員による小学校児童への教科担任制授業の導入、小学6年生が中学校での学校生活を体験するなどの取組を実施し、成果が表れています。

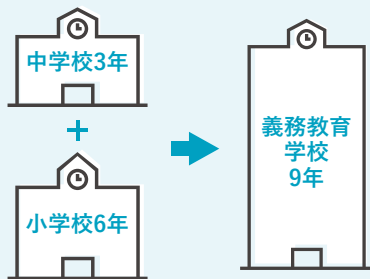
国は平成28年度から義務教育期間9年間を一つの学校にした「義務教育学校」を制度化しました。今後は、義務教育学校も一つの選択肢とするなど、地域や学校の状況に合わせた多様な学校形態も視野に入れながら、小中一貫教育の推進に取り組んでいきます。



教育長

義務教育学校とは？

小学校と中学校という学校形態とは別に、義務教育期間9年間を一つの学校にした新たな学校形態。特徴は、9年間で連続性のある指導ができること、また、教育課程を柔軟に編成したり、独自の教科を実施したりすることができます。



岐阜県内の義務教育学校は「白川村立白川郷学園」、「羽島市立桑原学園」、「本巣市立根尾学園」があります。

REPORT

3

地域・企業で参加・開催 「駅とまちを光でつなぐ杜のイルミネーション」

JR岐阜駅前広場から大岐阜ビルのポケットパーク、玉宮通りをつなぐ約10万球のイルミネーションが3月12日(日)まで開催されています。

このイベントは企業・団体の皆さんからの協賛によって行われているもの。岐阜提灯や岐阜和傘を使ったライトアップ、岐阜農林高等学校による瓢箪(ひょうたん)イルミネーションのほか、今年度は地域の小中学生や徹明まちづくり協議会による竹灯りの展示と玉宮通りでのイルミネーションが行われています。



岐阜和傘と岐阜提灯のライトアップは金・土曜日を中心に点灯



大岐阜ビルのポケットパークで展示されている竹灯り

REPORT

4

柳ヶ瀬グラスル35及び金公園の 完成式典 3月4日に開催予定

2023年(令和5年)春にオープン予定の高島屋南地区の再開発ビル「柳ヶ瀬グラスル35」と再整備中の「金公園」の完成式典の開催が決定しました。「柳ヶ瀬グラスル35」は商業フロア、公共施設フロア、住居フロアからなる35階建てのビル。「金公園」は緩やかな傾斜をつけた芝生広場が整備され、くつろぎの場、イベントの場として新たに生まれ変わります。



12月、完成間近の「柳ヶ瀬グラスル35」を視察しました。



金公園の完成予想図▶